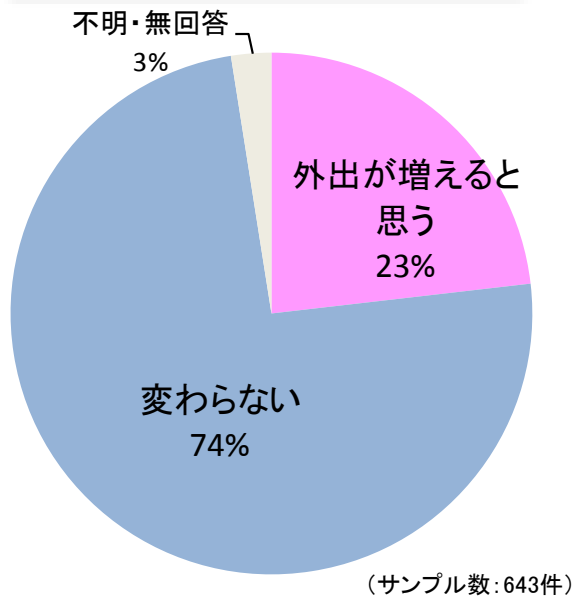
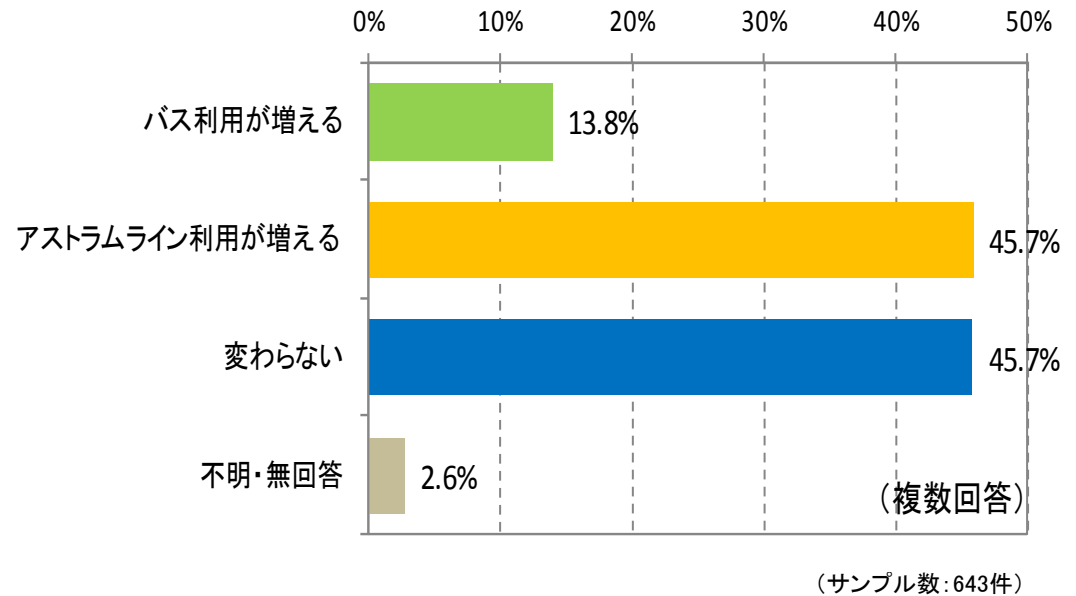


ク.「カーシェアリング」の利用効果

外出回数の変化



公共交通利用の変化



Ⅱ－3 まとめ

地域の 移動環境



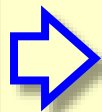
- 普段の移動に対して7割が満足。
- 不満の回答が多い地区は「杜の街」「若葉台」「下城ハイツ」など。
- 女性の方が、男性よりも不満に感じる傾向あり。
- 問題視する内容では「自動車の維持費が高い」「坂道が多い」や「生活施設が遠く自動車を使わざるを得ない」などが多い。

普段の 交通行動



- 自動車の利用頻度が高い。
- アストラムラインの駅までの手段は徒歩が4割、バスが3割、また家族の送迎が2割。

超小型 モビリティ の活用



- 超小型モビリティをまったく知らなかった人が4割。男性の方が認知度は高い。
- 超小型モビリティに興味がある人が4割。
- カーシェアリングの利用意向は3割程度で、多様な世代で一定のニーズあり。利用目的は買物が7割と多い。
- カーシェアリング利用によりアストラムラインの利用が増えると答えた人が5割。

Ⅱ－４ 企業等からのヒアリング結果

(1) 実施概要

ひろしま西風新都クラブへの聞き取り調査

調査目的

西風新都エリア内で事業を行っている企業（事業所）の代表者に、事業者の視点から、超小型モビリティを用いたカーシェアリングの利用ニーズに関する意見を聞く。

実施概要

実施日時：平成25年12月5日 10:00～

※事務局が役員会に参加し、意見を確認

参加企業数：6社の代表

（物流事業、高齢者福祉事業、教育関連事業 等）

Ⅱ－４ 企業等からのヒアリング結果

(2) 主な意見

ア. 通勤での利用に関して

- 従業員の8割以上はクルマ通勤。エリア外からの通勤が多い。
- 公共交通での通勤が多いならば、シェアリング活用も考えられるが、現状では利用しないのではないかな。

イ. 業務での利用に関して

- 使い道が思いあたらない。業務での利用は、見込めないだろう。(例えば、銀行まで自転車代わりに使う等は想定できる)
- 業務での用途があれば、車両を購入するのではないかな。

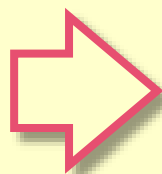
ウ. 業務への影響

- 道路に小さな車両が走ると危険。物流業者には支障を感じるのではないかな。
- 西風新都は物流団地、流通団地でもあるため、企業側からみると、あまり走って欲しくないのが本音。

Ⅱ－４ 企業等からのヒアリング結果

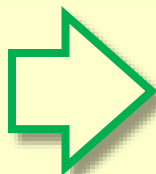
(3) 意見を踏まえた課題

業務や域外からの通勤での
活用の期待は困難



○通勤でシェアリング活用を促す場合は、
通勤手段を「クルマから公共交通」へ
転換させる方策が必要。

大型・物流車両との
共存は危ない



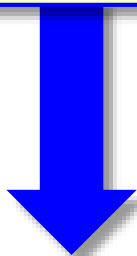
○利用者に対する安全教育の徹底。
○事業者への周知、及び理解を頂く努力。

Ⅲ 実施イメージについて

Ⅲ-1 実施イメージ

(1) ターゲット(超小型モビリティの潜在需要)

西風新都エリア内居住者の日常生活利用を主眼



- ・ 域内の大学に通学する学生の“ちょい乗り”などについても利用される可能性大
(企業活動の域内移動は少なく、需要は小)
- ・ 地域での交流活動での利用

年齢 性別



- 男女ともに多様な年齢層で、一定の利用ニーズ
- 一方で、女性の移動環境に対する不満が高い
(超小型モビリティの認知度が低く、PRが必要)

地域



- 交通環境に対する不満が高い地域
ex・若葉台・・・平地から離れており、かつ日中のバス便数が少ない
・下城ハイツ・・・バス便がない、高台に位置する
- 人口密度が高い地域
(ステーションから5～10分圏内で多くの世帯がある地域)

Ⅲ－１ 実施イメージ

(2) シェアリングの運用

行き先

- 買物、通院、最寄駅までの移動等のニーズが高く、アストラムライン駅や大規模商業施設、生活利便施設の集積地区等にステーションが必要
- 交通結節点の場合は乗り捨て可能なシェアリングシステムとする必要

利用頻度

- 1人あたり週に数回程度の利用を想定

予約方法

- 60代までは携帯・スマホでの予約が最も便利（70代以上は電話予約が最も多く、携帯・スマホは3割）
- 特に、帰路の際にスマホ等での予約を求める声

Ⅲ-2 事業展開のイメージ

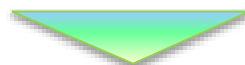
〔平成25年度〕

「西風新都への超小型モビリティの導入方針」とりまとめ



〔平成26年度 ～ 〕

本格展開を見据えた実証実験等の実施

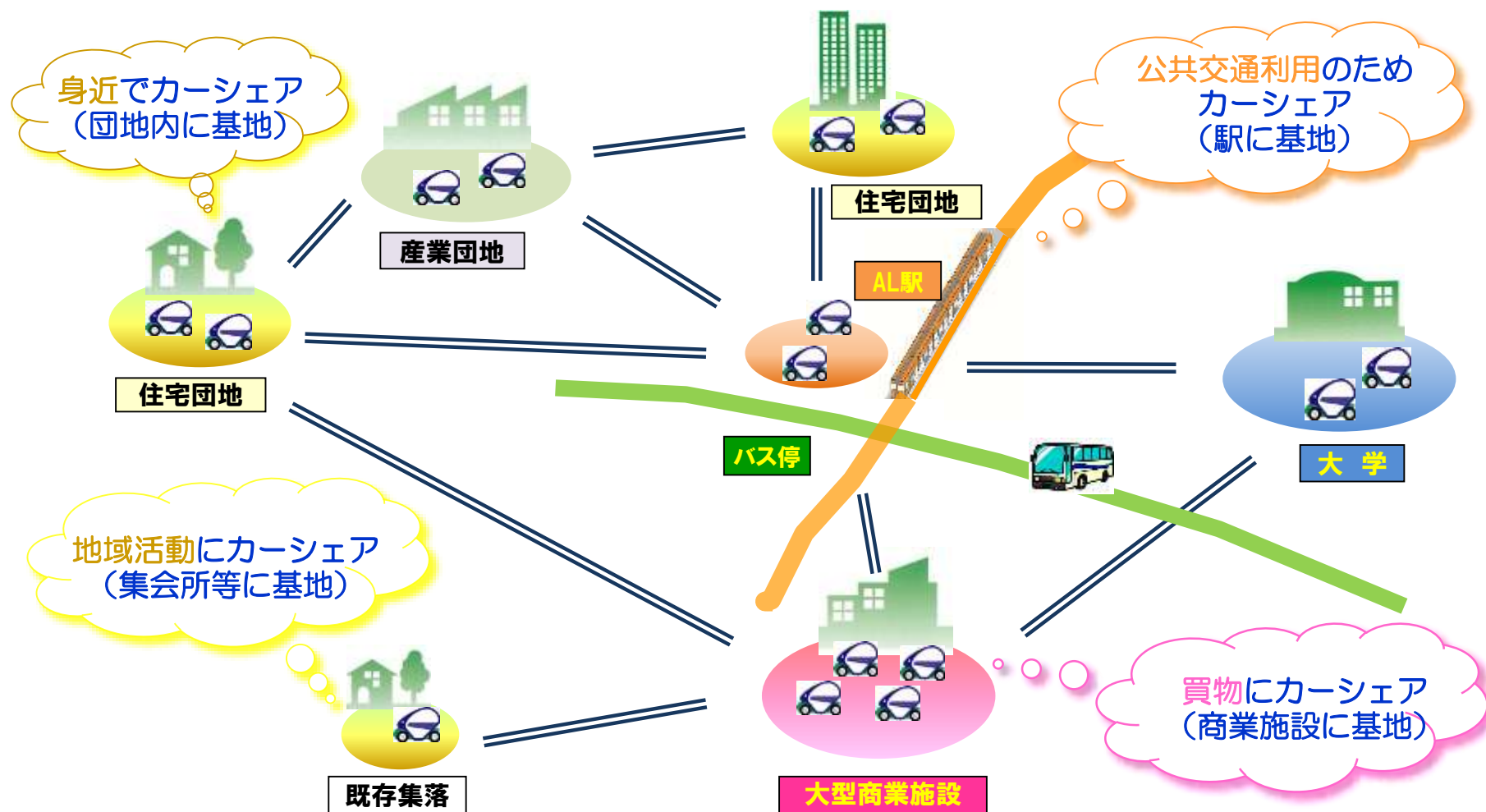


超小型モビリティを活用した域内カーシェアリングの本格展開



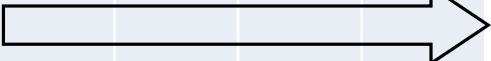
西風新都における成功を踏まえた全市的な展開

Ⅲ-3 将来のイメージ



IV 今後のスケジュール

IV-1 概ねのスケジュール

	平成25年度								平成26年度			
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
導入方針の検討	潜在需要の把握、交通サービス内容と事業運用方法等の検討 								実証実験に向けた取組 			
	 アンケート調査								 ICTを活用したシステムの検討等			
研究会	○ 第1回		○ 第2回		○ 第3回		○ 第4回				○ 第5回	

IV-2 研究会の開催予定

【第1回】(平成25年8月26日開催)

- ・西風新都の都市づくりについて
- ・交通スマート化の検討の方向性
- ・事例紹介

【第2回】(平成25年10月25日開催)

- ・本研究会の位置づけ、取組の方向性について
- ・アンケート調査について
- ・事例紹介

【第3回】(12月26日開催)

- ・住民アンケートの結果について
- ・超小型モビリティを活用したスマートな交通システムの導入について
- ・事例紹介

【第4回】(平成26年2月下旬頃)

(導入方針のとりまとめ等)

【第5回 ～ 】(平成26年4月以降)

(実証実験等)